



北中だより

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No26
文責 芹川博文
11月1日(金)

「全員の力が発揮できて優勝することができました」

～ 野球部、バレー部、バドミントン部、それぞれ優勝～

優勝した部のキャプテンに、思いを書いてもらいました。

野球 第15回もっこす杯中学校軟式野球大会 優勝

「今まで練習の成果が出ずに良い成績が残せていなかったけど、今回の大会では全員の力が発揮できて優勝することができました。とてもうれしいです。」
野球部キャプテン 迫 嵩有

女子バレー 江田船山中学生バレーボール大会 優勝

「一人一人が自分の役割を果たし、練習してきたことを発揮できたから優勝できたと思います。これからもみんなが楽しいと思えるバレーをしたいです。」
女子バレー部キャプテン 城本 萌結

女子バドミントン 城北バドミントン大会Bパート 優勝

「今までたくさんの練習を頑張ったという事でもあるし、新人戦のときに、自分の課題を見つけて城北大会までにその課題にしっかり取り組めた事でもあると思います。次の大会まで時間はたくさんあるので、次の大会も優勝できるように頑張りたいです。」
バドミントン部キャプテン 渡邊 千晃

嬉しい知らせを北中全職員・生徒で味わっています。努力の成果が結果となる瞬間。その瞬間は鮮明な記憶として残ることでしょう。また、支えてくださっている方々への感謝の思いは、更なる挑戦へと歩みだす糧となることでしょう。

北中の生徒は全体的に控えめです。「おめでとう！」と言っても、静かに「ありがとうございます」と言う言葉が返ってきます。しかし、その控えめな言葉の奥に、強い意志を感じます。

生徒数は年々少なくなり、野球部は七城中と、女子バレーは泗水中との合同チーム。生徒数減少という「壁」とも向き合いながら、毎日汗を流す北中の生徒たちです。

部活動に限らず、何事も結果として出る時もあれば、そうではない時もあります。本気であるからこそ味わう、わくわく感や緊張感、嬉しさや悔しさ……。様々な経験を通して、生徒たちは日々、心も体も鍛えています。

いよいよ お披露目 菊まつりに出展（菊まつり 11/1～15）

～①「達人」による最後の消毒、②観光振興課による運搬、③生徒も参加して展示～

いよいよ「お披露目」の時となりました。北中で育てられた菊が、菊池市菊まつりの会場である市民広場に移動しました。最後の消毒をしていただいた「菊の達人」後藤様、運んでいただいた観光振興課の方々、ありがとうございました。保護者の皆様、是非ご覧になられてください。



「それ、冬至芽といって、大切な芽です」

北中に来て初めて知ることがたくさんあります。「冬至芽（とうじめ）」もその一つ。横からはみ出して伸びた芽のことです。格好的に「これ、どうかした方がいいですか」と尋ねると、「この芽が来年の春に伸びる大切な芽です。冬至芽と言います。」とのこと。「外見の格好」だけに目がいっていた私。花を咲かせる前から、来年春の準備を始めている菊。

また一つ大切なことを学ばせていただきました。

